

事務事業名	議会運営事業			事業コード	01010105101		
所管部署	議会事務局		電話	50-3001		記入者名	杉田 雅博
事業対象	坂井市議会、及び議員						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	効率的な行財政運営の推進			事業種別	内部管理事業	
実施主体	市		実施手段	市が直接実施		委託内容	
根拠法令	有 地方自治法						
根拠例規	有 坂井市議会定例会条例、坂井市議会委員会条例、坂井市議会定例会招集規則、坂井市議会会議規則、坂井市議会傍聴規則						
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】	議会運営を適正かつ円滑に行うため、これに付随する各種事務事業を行います。						
	<p>本会議運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会（年4回）、臨時会の開催・運営、及び議決書等の作成、会議録の調整 委員会関係事務 ・議会運営委員会、常任委員会、特別委員会開催に係る諸事務、及び委員会記録の作成 <p>協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会議、及び委員会運営が円滑に遂行できるように、全員協議会、委員会協議会の開催（事前協議） 会派関係事務 会派制の適正な運用 						
【事業の目的・事業の概要等】							

すぐに行える改善提案	「坂井市議会基本条例」を平成24年3月に制定し、同年4月1日より施行したことを機に、より一層議会の活性化を図るとともに、議会および議員の責務を自覚し、役割を明確にすることで市民の負託にこたえられる議会を目指していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	・市民参加、市民との連携として、「議会報告会」を各定例会終了後に実施しました。・議決事件の拡大として、「坂井市総合計画基本計画」を定めることで、重要な市の計画に市長とともに市民に対する責任を担いました。・委員会活動として、新たに予算特別委員会を設置し、一問一答式にてより深く議論しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	平成21・23年度に見直し検討した議員定数、報酬については、今後、なお政務調査費等との複合的観点から検討する必要があります		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【効率性】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	議会費	項	議会費	目	議会費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成21年度						
			報酬	114,811 千円	119,560 千円	千円	千円				
			委託費	510 千円	24 千円	千円	千円				
			需用費	162 千円	150 千円	千円	千円				
			役務費	75 千円	1 千円	千円	千円				
			その他	1,681 千円	1,925 千円	千円	千円				
		事業費合計	117,239 千円	121,660 千円	千円	千円					
		人件費	正職員	3.20 人	22,749 千円	3.20 人	21,744 千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	3.20 人	22,749 千円	3.20 人	21,744 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			139,988 千円		143,404 千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円					
一般財源		139,988 千円	143,404 千円	千円	千円						
財源合計	139,988 千円	143,404 千円	千円	千円							

事業の方向性	このまま継続します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	4月から議会基本条例が施行され、各委員会は公開となり、開かれた議会になった。また、定例会終了後に議会報告会を、4地区で開催し、市民の意見を聴取した。				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	議会運営は、議員が主体となって職員が輔佐する。				
コスト投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	議会だよりやホームページにより、各情報公開に努め、経費を軽減する。				
人員投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	資料作成のかかる人件費の増を抑えていく。				
すぐに行える改善提案	委員会等の会議録作成を、パソコンシステムにより軽減していく方向で検討する。				
目標年度	平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案					
目標年度	-- 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
活動	議案処理件数	件	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	135	135	116	116	115		102	
活動	議長交際費	千円	目標値	425	達成率	425	達成率	425	達成率	500	達成率
			実績値	318	74.82	390	91.76	460		449	
活動	議員報酬	千円	目標値	400	達成率	400	達成率	400	達成率	400	達成率
			実績値	400	100	400	100	400		400	
活動	議員定数	人	目標値	26	達成率	30	達成率	30	達成率	30	達成率
			実績値	26	100	26	86.67	26		30	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	議会事務局事業			事業コード	01010105106		
所管部署	議会事務局	電話	50-3001	記入者名	杉田 雅博		
事業対象	坂井市議会、及び議員						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）		
	基本計画	効率的な行政運営の推進		事業種別	内部管理事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市議会事務局設置条例、坂井市議会事務局処務規程、坂井市議会公印規程					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	議会活動を円滑に進めるため、必要となる各種事務を行います。北信越・県の各市議会議会議長会研修会への参加を通して、事務効率の向上に努め、議会・議員活動を支援します。						
	<ul style="list-style-type: none"> 議員の報酬、費用弁償、及び議員共済に係る事務 議員表彰事務 文書物件の收受、発送、保管 予算要求、執行（入札、契約）事務 議会各種調査事務 議会公印の管守 議事堂管理 						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	事務の合理化・効率化を図りながら、現状を維持します。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度	未設定	年度	
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	議会費	項	議会費	目	議会費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	179 千円	192 千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	12 千円	41 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	191 千円	233 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	1.30 人	9,242 千円	1.30 人	8,834 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.30 人	9,242 千円	1.30 人	8,834 千円	人	千円	人	千円
総事業費	9,433 千円	9,067 千円	千円	千円	千円	千円				
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円				
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
	その他	千円	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	9,433 千円	9,067 千円	千円	千円	千円				
財源合計	9,433 千円	9,067 千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事務経理を行う。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議会事務局職員が行う。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議員の人件費を必要経費のみの運用			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議会基本条例の施行により、事務量が増加している。			
すぐに行える改善提案	議会事務の作業効率を図っていく。			
目標年度	平成25	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	議会調査活動事業			事業コード	01010110101		
所管部署	議会事務局	電話	50-3001	記入者名	杉田 雅博		
事業対象	坂井市議会議員、及び会派						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	効率的な行政運営の推進		事業種別	ソフト事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	地方自治法					
根拠例規	有	坂井市議会政務調査費の交付に関する条例、坂井市議会の政務調査費の交付に関する規則、坂井市議会委員会条例、坂井市議会会議規則					
関連計画・マニュアル	無						

【事業の概要】

政務調査費での調査活動及び各委員会の視察研修による先進事例の調査・研究を通して、行政課題（懸案事項）等への知識・見識を高める。

【政務調査費事務】
会派の所属議員数に応じて、議員一人につき月額50,000円を会派に支給するものとし、支給月は4月、7月、10月、1月とします。会派代表者は、領収書を添付した収支報告書を翌年4月末までに市長に提出します。政務調査費に余剰金が生じた場合には、預金利息を含めて市に返還します。
※会派結成届のない無所属議員には、政務調査費を交付しません。

【議会調査研究事業】
常任委員会、特別委員会の所管事項について、現地視察を実施します。常任委員会は一人当たり80,000円、特別委員会は同50,000円を限度に支給します。（なお、特別委員会は隔年実施とします。）視察謝礼として、1ヶ所3,000円以内を支出します。議員研修は、講師謝礼を支出します。

【事業の目的・事業の概要等】

予算	款	議会費		項	議会費		目	議会費		
		平成24年度	平成23年度		平成22年度	平成21年度				
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	65	70	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	12	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	12,808	13,427	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	12,885	13,497	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.60	4,265	人	0.60	4,077	人	千円	千円
		臨時職員	0.00	千円	人	0.00	千円	人	千円	千円
		人件費合計	0.60	4,265	人	0.60	4,077	人	千円	千円
		総事業費	17,150	17,574	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	17,150	17,574	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	17,150	17,574	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
調査箇所数	箇所	箇所	目標値	15	達成率	18	達成率	18	達成率	20	達成率
			実績値	10	66.67	14	77.78	12		15	
政務調査費交付件数	件	件	目標値	5	達成率	5	達成率	5	達成率	5	達成率
			実績値	9	180	5	100	7		8	
1人会派件数	件	件	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率
			実績値	4	---	0	---	2		3	
1人当たりの政務調査費（月額）	円	円	目標値	35000	達成率	35000	達成率	35000	達成率	35000	達成率
			実績値	38121	108.92	38411	109.75	35768		30335	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる改善提案	政務調査費の使途、委員会視察について、議員間での協議を行いながら、視察内容・質の充実を更に目指しながら、今後もこの方向性を継続します。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	・各会派とも、政務調査費については、条例、規則等による使途基準に沿った適正な処理がなされています。（事務局による確認、指摘事項が減少しています。）・政務調査費の透明性の確保の観点から閲覧請求の「市内」要件を撤廃しました。・委員会等の行政視察については、研修課題の把握、事前の調査等を十分に行い、密度の濃い内容となっています。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議員のスキルアップのために調査研究を行う。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議員（会派）、各委員会が必要に応じ実施する。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	調査研究のための支出である。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議員が行う。			
すぐにできる改善提案	研修目的を明確にし、無駄がないようにする。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

事務事業名	議会広報事業			事業コード	01010110106
所管部署	議会事務局	電話	50-3001	記入者名	杉田 雅博
事業対象	市民、及び全国市町議会				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	効率的な行財政運営の推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	議会だより印刷業務、議会録画放送編集業務の委託
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市議会広報発行規程			
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】	議会活動の周知と坂井市のPRに寄与します。				
	<ul style="list-style-type: none"> 議会傍聴、議会だより、ケーブルテレビ録画放送、ホームページを通じた議会活動の広報を行います。 坂井市の宣伝のため、他自治体議会の委員会、会派等の行政視察を積極的に受け入れます。（議会のしおり、市勢要覧、観光パンフレット等の配布） 				
【事業の目的・事業の概要等】					

すぐにできる改善提案	市民の議会（議員）活動や市政全般に対する関心を高めるため、議会だより・ケーブルテレビ放送・ホームページなどにより、わかりやすい表現の工夫や内容の充実を図ります。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	「坂井市議会だより」について、市議会広報編集委員会の中で、市民等が関心の持てる掲載（公開）内容、わかりやすい表現（構成）等を十分に協議し、広報編集にあたりました。特に、議会基本条例による議会報告会において、当日の報告資料として活用するようにしたため、委員会等の報告内容の充実に努め、また各議員個人ごとの議決結果を掲載することとしました。
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当評価】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	議会費	項	議会費	目	議会費								
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度					
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円					
			委託費	2,310	千円	2,310	千円	千円	千円					
			需用費	3,696	千円	3,490	千円	千円	千円					
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円						
			その他	千円	95	千円	千円	千円						
			事業費合計	6,006	千円	5,895	千円	千円	千円					
			人件費	正職員	0.90	人	6,398	千円	0.90	人	6,116	千円	人	千円
				臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円	人	千円
				人件費合計	0.90	人	6,398	千円	0.90	人	6,116	千円	人	千円
	総事業費	12,404	千円	12,011	千円	千円	千円	千円						
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円						
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円							
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円							
			地方債	千円	千円	千円	千円							
その他			千円	千円	千円	千円								
一般財源		12,404	千円	12,011	千円	千円	千円							
財源合計		12,404	千円	12,011	千円	千円	千円							

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議会だよりの発行やホームページのアップ、ケーブルテレビの放映等により、議員活動を広く周知する。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議会だよりは、議員が作成する。ケーブルテレビは委託により放映する。ホームページは職員がアップする。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議会活動をどこまで市民に周知するかよりコストが変わる。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の情報提供作業内容で、維持できる。			
すぐにできる改善提案	市民への情報提供量を増やすことは、経費の増につながってくるため、情報提供内容を検討していく必要がある。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	議会だより発行回数	目標値	4	達成率	4	達成率
		実績値	4	100	4	100
活動	行政視察受入件数	目標値	10	達成率	10	達成率
		実績値	11	110	11	110
活動	議会録画放送回数	目標値	4	達成率	4	達成率
		実績値	4	100	4	100
活動	議会傍聴者数	目標値	60	達成率	60	達成率
		実績値	61	101.67	62	103.33
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】